

# TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

**Vol.68**

配信日：2024年1月23日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

医療タイムス 記事紹介

“ 暑熱順化と発汗 ”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙<sup>\*</sup>(Emailの場合:別添)(Faxの場合:本状含め2枚目)の通りでございます。

※ 別紙 出展元: 医療タイムス 2024年(令和6年)1月10日(水曜日) 発行

## 事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただいております(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合もございます。予めご了承願います。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: okudera@carrot.ocn.ne.jp

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114

## 新春随想

## 暑熱順化と発汗

北村 豊

コロナのパンデミックによる3年間のブランクがあつて、久しぶりに半島マレーシアの熱帯降雨林、すなわちジャングルの先住民の村へ診療に行つて来た。



私の青年海外協力隊

時代には、共産ゲリラの活動が活発でもあつたため、ほとんどの地域の深いジャングルには軍隊、ジャングルポリス、そして私達先住民局の職員らを除いては民間人は立ち入ることも許されず、半島マレーシアの詳細な地図の販売も禁止されていたが、今は「開発と称

する魔物“により1億3千万年前から続くとされる広大で豊かであった森は減少し、種の多様性も失われていつている。

今回、9月上旬という訪問時期になったのは、10月から3月までは目的地のジャングルがモンスーンによる多量の降雨で、極端に道路状況が悪くなるからである。今回でさえ30cm位の水深の川を何回か横断したが、今現在はすでに先住民の村への道はランドローバーなどの本格的SUVでも無理で、おそらく陸路で確実に行けるとすれば、「戦車“くらい

ではないだろうか。。

今回は総勢21人、うち、医療関係者は私の40年来の旧知の友の内科医2人と私、そしてデンタルナースであり、外国人は私1人のみであった。

今回の私の診療は口腔内診査と抜歯のみであり、ロータリークラブから寄贈された折り畳み式の歯科用木製チエアーを用いて診療を実施した。

ていけるな！という心強い気持ちになったものである。

記録的な気温を全国各地で記録した日本で、メディアからは熱中症と共に「暑熱順化“という言葉がよく聞かれ、「汗をかくようにしまししょう」という言葉が標語のように使われた。

しかし、四季もある日本での短期暑熱順化と、長期暑熱順化したアフリカや東南アジアの熱帯地域住民とは順化のメカニズムが全く違うのをご存知だろうか？

落ちる「無効発汗」が多いが、熱帯の住人では「発汗は少ない」が、皮膚血管が拡張する“ことにより高い皮膚温を保って少量の汗の蒸発を促進させて乾燥による熱放散が効率的に行われるという。

発汗反応の点からは、両者は真逆である。これからますます気温上昇が続いて行くのは確実であるが、ひ弱な日本人も熱帯圏の住民のような長期順化の“メカニズム“を獲得できないものであるだろうか？

（上高井郡小布施町 信州口腔外科インプラントセンター所長）